

電話傾聴ボランティア養成講座

受講生募集

(2017.1.23 更新分)

～チャイルドラインは、18歳までの子ども専用電話です。この電話を受けるボランティアを募集しています～

子どもの現状Ⅰ

子どもの生活・発達・教育を考える

元西南学院大学教授 瀧上 継雄 さん

6月26日(日)10:00~12:00

会場：ももちパレス第2会議室

「子どもは社会の鏡」と言われるように大人社会の変化は子どもたちの成長に大きく影響しています。長年蓄積されたデータから見えてくるものを一緒に考えていきましょう。

子どもの権利を考える CAPプログラムから子どもを意識できる大人になろう

NPO法人にじいろCAP理事長

重永 侑紀 さん

6月26日(日)13:00~16:00

会場：ももちパレス第2会議室

すべての子どもに「安心」して「自信」をもって「自由」に生きる権利があります。子どもたち自身が自分、友達、みんなの権利を大切にできるよう、「子どもの権利」について確認しましょう。

カウンセリング応用

難しい場面での応答を考える

九州大谷短期大学 岡田 健一 さん

7月31日(日)10:00~12:00

会場：福岡市中央市民センター視聴覚室

カウンセリング議論、ロールプレイで学んだことをより深めるための講座です。単発受講の方は「チャイルドラインとは」、「カウンセリング概論」、「コミュニケーションワークショップ」と併せて受講することをお勧めします。

チャイルドラインとは

子どもの声に耳を傾けるって？

九州大谷短期大学名誉教授

山田 真理子 さん

7月10日(日)10:00~12:00

会場：ももちパレス第2会議室

チャイルドラインはお説教や意見の押し付けはしません。丁寧に聴き共感し、その子がどうしたいと思っているかを一緒に考えていくスタンスで子どもが力を取り戻していくのです。

カウンセリング概論

問題や悩みへの寄り添い方

臨床心理士 今泉 輝幸 さん

7月10日(日)13:00~15:00

会場：ももちパレス第2会議室

カウンセリングの基本は傾聴です。では相手が「寄り添ってもらえた」と感じるカウンセリングとはどういうものなのか、様々な場面を想像しながら学んでいきましょう。

ロールプレイ(※通し受講生のみ受講可)

カウンセリングロールプレイ

九州大谷短期大学名誉教授

山田 真理子 さん

7月17日(日)10:00~17:00

会場：ももちパレス第1研修室

電話での傾聴は対面とは違う難しさがあります。ロールプレイと専門家とのふりがえりて自分の傾向に気付けることでしょう。

ワークショップ

コミュニケーションワークショップ

インプロ集団

MOSAÏQUES(モザイクス)

7月17日(日)18:00~21:00

会場：ももちパレス第1研修室

子どもたちのどんな言葉も受け止められるように、自分のこだわりを知り、枠にはめず想像力を広げていくことや、相手を認めるということを楽しみワークショップで体感して下さい。

子どもの現状Ⅱ

子どもとメディアを考える

NPO法人子どもとメディア事務局長

黒田 可奈子 さん

8月11日(木祝)10:00~12:00

会場：福岡市中央市民センター第2会議室

スマートフォンの所持率が中学生では50%、高校生では90%と言われており年々低年齢化しています。パソコンと同じ機能を持つスマホ。刻々と変化するスマホ時代の子どもたちの現状をお伝えします。

子どもの現状Ⅲ

発達障がいへの理解

NPO 大分特別支援教育室フリーリー理事長

梶原 陽子 さん

8月11日(木祝)13:00~15:00

会場：福岡市中央市民センター実習室

発達障がいを持つ子どもたちも一人ひとりにあった必要な支援と一緒に探ること自分らしく過ごすことができます。親として、支援者として何が出来るのか、体験談を交えてお話ししていただけます。

【受講料】 ※電話キャッチャーを目指す方は、全講座受講が必須です。

①全講座通し受講 ②単発受講 の2種類のコースからお選び下さい。

※カウンセリングロールプレイ(7/17)の単発受講はできません

①通し受講…一般：15,000円 / 学生：8,000円

②単発受講…お好きな講座のみ受講いただけます。1講座につき：1,500円

【受講資格】 18歳以上であること。

裏面へつづく→



思春期の性

「本気で語ろう」思春期の性のこと

(第15回市民フォーラム「子どもにやさしいまちづくり」分科会)

12月4日(日)13:30~15:30

会場：早良市民センター 会議室

第1部

「Peer Education Project」が実施する、青少年向け性教育プログラム体験ワークショップ

第2部

すべての子どもが自分らしく生きるために
～性の多様性を知ることから～

思春期には体の成長に戸惑うことは当たり前ですが、近年ではインターネットの歪んだ情報を安易に信じてしまい自分も周りも傷つくことになる子どもたちが多くいます。「性」を大切にすることは「生(いのち)」を大切にすることと同じです。この講座では学校や地域で性(生)教育講師の経験を持つ医学生や当事者の方々に、現代の思春期の子どもたちとどんな話しをしているかなどをお話ししていただきます。

子どもの現状Ⅳ

社会的養護の子どもたち

福岡市子ども総合相談センター

瀬里 徳子 さん

10月1日(土)13:30~15:30

会場：あいれふ(健康づくりサポートセンター)8F 実習室

現在全国で約4万7千人の子どもが、虐待、経済的、親の病気など様々な理由で乳児院や施設、自立援助ホーム、里親家庭で生活しています。国や自治体の取り組みの変化なども学びながら理解していきましょう。

【申し込み・お問い合わせ】

ご希望の受講コースと講座、お名前、郵便番号、ご住所、Tel・Fax、E-mail アドレス、ご所属・学校名をご記入の上、メール、または Tel、Fax で下記までお申し込み下さい。募集要項など詳細をお送りします。(件名に「キャッチャー養成講座申し込み」とお書き添え下さい)

※迷惑メール防止機能をご利用の方は、受信許可設定をお願いします。

Tel /Fax : 092-734-1540

E-mail : kimochi2@coral.ocn.ne.jp

**子どもは、「本気で自分の話を
聞いてもらえた」と感じるこ
が出来れば、自分自身でその課
題と向き合い、乗りこえていく
力を持っています。**

チャイルドラインは、18歳までの子どもがかけられる電話で、「チャイルド・ヘルプライン・インターナショナル(CHI)」という130ヶ国以上で行われている世界的な活動です。

現在日本では全国で、70以上のチャイルドラインが協力して、子どもたちの声を毎日受け止めています。子どもたちの声を聴くのは、みんなトレーニングを受けたいボランティアたちです。

【内 容】

子どもたちの現状を、生活、発達、教育、人権、成長、性、精神医学など様々な面から捉えながら、「聴く」ことの大切さや、「気持ちに寄り添う」ことの意味を、座学・ワークショップ・ロールプレイを通して学んでいきます。また、子どもの自立を支える側として踏まえておかなければならないことも、「チャイルドライン」の意義やスタンス、地域で広がる子ども支援などから学びます。

【講 師】

保育・教育・社会的養護などの現場経験豊富な専門家や、臨床心理士、医師を始め、表現教育家、子ども支援に携わるNPO関係者など、専門的且つ実践型のメンバー。

【こんな方にお勧め】

臨床心理やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカー志望の方、教員志望の方、相談業務にあたっている方、子育て支援や子どもに関する仕事をされている方、その他企業の社員教育研修などにもお勧めです。

認定 NPO 法人チャイルドライン「もしもしキモチ」事務局

Tel /Fax : 092-734-1540

E-mail : kimochi2@coral.ocn.ne.jp

〒810-0023 福岡市中央区警固 1-13-15 404

ホームページ : <http://moshi2.jp/>

認定 NPO 法人への寄付金は、確定申告により寄付金控除(寄付金から2000円を引いた額の最大50%還付)を受けることができます